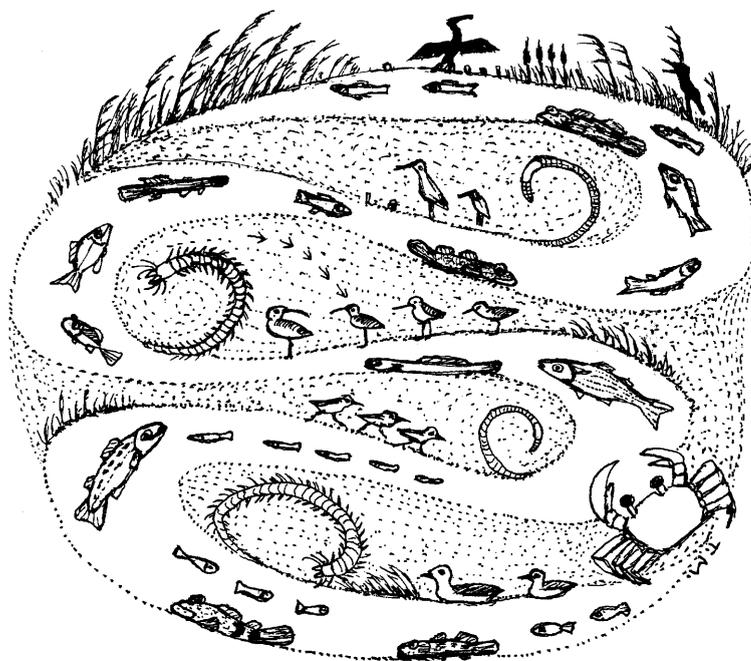


# 長良川下流域生物相

## 調査報告書2010

河口堰運用15年後の長良川



長良川下流域生物相調査団



長良川河口堰 下流側より撮影  
(写真1)

河口堰による堰下流への影響  
長良川と揖斐川



河口堰より撮影した長良川の景観  
植物は全く見当たらず  
(写真2)



同位置よりカメラを少し右へ振る  
画面大半揖斐川のアシ原・ヤナギなどの景観  
(写真3)



1991年9月撮影（建設省・国土地理院空中写真）

写真左から、揖斐川、長良川、木曾川

河口より4～11km付近（上が上流）

橋は上流から、東名阪自動車道、関西本線、近鉄名古屋線、国道1号線（伊勢大橋）

伊勢大橋の下流、四角く囲まれているのが河口堰建設現場



1996年5月撮影（建設省・国土地理院空中写真）



2000年10月撮影（国土交通省・国土地理院空中写真）



前報告書掲載 河口堰で消滅するアシ原（6.2 km地点）伊勢大橋より撮影  
（写真4）



河口堰で消滅したアシ原（画面右端の植物群落はオギとヤナギ）  
同一地点で撮影（但し、植物群落を取り込むため、少々左へカメラを振る）  
（写真5）



旧建設省が復元したアシ原 繁茂しているのはオギやヤナギ  
写真5の植物群落を、右岸から撮影  
(写真6)

調査光景



(写真7)



(写真8)



(写真9)



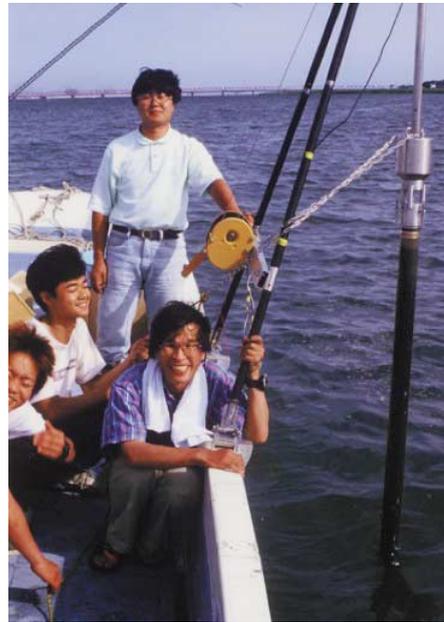
(写真10)



河口堰建設前 1990 年の長良川下流域の  
景観．伊勢大橋上流のヨシ原と干潟



伊勢大橋上流のヨシ群落  
調査．1999年



底泥コア・サンプラーの制作．厚さ約 2 m の底泥柱状  
サンプルの採取が可能になり、河口堰下流部の堆積物  
の分析が出来た．



イトメの生殖型．2009年11月18日，揖斐川 6.8 km 地点右岸．  
雌雄で色が異なる．（第8章）